

開成の杜

第108号 ●2018年12月10日 ●郡山女子大学大学院 ●郡山女子大学 ●郡山女子大学短期大学部 ●郡山女子大学附属高等学校 ●郡山女子大学附属幼稚園

●発行所／学校法人郡山開成学園 〒963-8503 郡山市開成3丁目25番2号 ☎ 024(932)4848(代) <http://www.koriyama-kgc.ac.jp> ●発行人／学園長 関口 修



盛大に開かれた開場式

(撮影 山口郁生)



理事長・学園長
関口 修

冬に思う

まもなく平成の歳に別れを告げようとしている此の頃ですが、夜の帷が長くなるにつれ日に日に寒さが募ります。

記録破りの猛暑が終わり、紅葉の秋となり、中秋の名月に薄を飾り豊作を感謝するしきたりは日本人の遺伝子に、自然への畏敬が育まれてきているからなのでしょう。月の光を愛でながら、かぐや姫の物語を偲ぶ感性を尊びたいものです。

このごろ流行りだしたハロウィーンとユウケルト民族の行事がテレビを賑わしました。

この東西の文化に共通することは、子どもを大切にしていることですが、僅かな時の流れに流され、いつの間にか大人が仮装し、何等の信仰心や聖霊を尊ぶ心もなく、仮装を隠れ蓑に集団心理に依存したストレス発散の場になっているようです。物事の起源を知り、尊重しないと自分を失います。

冬になると好まれる言葉に「冬来たりなば春遠からじ」という詩文があります。これは生活の常套語のように思っています。19世紀中ごろのイギリスの詩人シェリーが詠んだ詩の和訳であるとのこと。

同じような対比で、朝が来ない夜はないとか、失敗は成功のもとや苦は楽の種と知るとです。

べし等、感性の違いはあれども人間の本质には大きな違いがないようです。このような表現は概ね、人間本来の向上心や自尊心を基底として考えれば、自己認識の軽重により、大きな隔たりが生まれます。更に、個人の価値観や欲望に由来する言葉の使い方によっても違いが生まれます。

現代社会のようにデジタル化した世相が、一層複雑化してくる過程で、人々の価値観を類別すると、個人の思考形態や趣向が分類し易くなってきている様子が、流行の特徴として見られます。

勝手な推察ですが、SNSなどの機能による言語使用は文字数(文章) 制限的心因を惹起しているのではないのでしょうか。

古からの通信手段として手紙があります。思いの丈を便箋に託すべく、毛筆や万年筆を要りました。相手の心情を斟酌する能力も磨かれました。アナログの社会からデジタルへと急激に変化する社会にあって、大切なものを失ってはいないのでしょうか。

経済性やスピードが優先される現代ではものごとを推敲し熟慮する姿勢が欠落していると思えます。

清々とした環境に身を置き、未来への道筋を辿る時間を大切に、一年の収めに、来し方を顧み、己の至らざるを知るのも長き夜の豊穡と言え迎える魁としてください。

NHK「うまいっ!」に出演して

郡山女子大学食物栄養学科 講師 郡司尚子

先日、NHKで放送されている「うまいっ!」に出演しました。この番組は、うまいっ!とうなるほどおいしい、日本各地の旬の農作物などをテーマに、その食材が作られる現場にリポーターが密着し、紹介するものです。今回、福島県の「エゴマ」をテーマに番組制作をするにあたり、出演依頼がありました。8月、打ち合わせ、葛尾村や本学で取材、撮影などを行い、直前まで台本やVTRチェックなどにも携わりました。

当日は、天野ひろゆきさんや塚原愛アナウンサーなどの出演者やスタッフの方々がサポートしてください。

就職部

今年の卒業予定者の就職内定率は10月25日現在、昨年より大学8・8、短大3・1ポイント上昇している。景気回復が続く企業の採用意欲が高まり、求人数も増えている。また未内定者もいるので、就職希望者全員の就職内定を目指して取り組んでいる。大学3年生、短大1年生は第3回までの就職ガイダンスが終了した。学生の就職に対する意識が変わり、ようやく就職準備に向けて動きはじめています。

第2回就職ガイダンスは福島県内の女性で、第一線で活躍している3名のスペシャリストを招き、働き方、生き方を学び、ロールモデルとして自分の成長に結びつけて考えてほしい。第3回は卒業生に仕事のお話を伺い、イメージではなく社会を知り、ミスマッチがないように就職活動を行なってほしい。第4回は模擬面接、第5回は短大が就職内定した先輩の



第3回就職ガイダンスの様子

なか、事前打ち合わせやリハーサルを経て収録に臨みました。収録とはいえ、生放送のように、放送時間の30分間、カメラを止めることなく通して撮影するため、かなり緊張しましたが、和やかな雰囲気でした。収録を終えることができました。「知ってる? 最強食材『エゴマ』」と題して放映された内容は、田村市を中心に、エゴマ栽培や収穫の様子、料理の紹介に加え、本学と包括連携協定の結んでいる葛尾村でのエゴマ栽培の様子なども放送されました。地域連携活動に力を入れて頑張っている様子が全国放送されたことは、現



葛尾村のエゴマ栽培農家さんと学生たち

地で活動する学生たちの励みになったようです。今後も引き続き活動を続け、エゴマ商品の発売を目指し、様々な媒体を通じて本学の魅力を発信していければと思っています。

2019年度 一般生入学選抜日程

募集定員

- 大学
 - 家政学部人間生活学科 生活総合コース5名
 - 建築デザインコース5名
 - 福祉コース10名
 - 家政学部食物栄養学科 40名

【短期大学部】

- 健康栄養学科 7名
- 幼児教育学科 14名
- 地域創成学科 8名

注意事項

- 出願書類の提出期日は、当日消印有効です。
- 志願票は出願期間締切後に送付されます。
- 合否発表は、合否通知発送日に日本郵便「レターパック」で発送いたします。

2019年度 一般生 入学選抜日程

● 大学

選抜方法	出願期間	選抜日	合否通知発送日	入学手続き締切日
一般生 <small>大学入試センター試験結果利用含む</small>	I期 併願可	1月11日(金)~1月22日(火)	2月2日(土)	2月13日(水)
	II期 併願可	2月1日(金)~2月12日(火)	2月22日(金)	3月5日(火)
	III期 併願可	2月22日(金)~3月10日(日)	3月16日(土)	3月22日(金)

● 短期大学部

選抜方法	出願期間	選抜日	合否通知発送日	入学手続き締切日
一般生 <small>大学入試センター試験結果利用含む</small>	I期 併願可	1月11日(金)~1月22日(火)	2月2日(土)	2月13日(水)
	II期 併願可	2月1日(金)~2月12日(火)	2月22日(金)	3月5日(火)

卒業研究発表会始まる

大学人間生活学科 福祉コースの第29回卒業研究発表会と生活総合コース・建築デザインコースの中間発表会が10月26日に、大学食物栄養学科の第50回卒業研究発表会が10月19日にそれぞれ行われた。発表者と研究題名は次の通り。

【人間生活学科 福祉コース】
 福島県田村市における地域包括ケアシステムの構築—新たな福祉サービスの提案—
 小石沢真奈 最上祐子

▽ネグレクトと貧困の世代間連鎖—社会から孤立する養育者—鈴木ありさ
 【人間生活学科 建築デザインコース】
 美的法則と建築物に関する考察 佐藤野萌
 福島県産材の利用促進に向けた取り組みと今後の展望 澤香葉子
 韓国の伝統的住宅について 横山夏海
 永島婚社会における婚礼儀式的空間構造と普及要因 千葉杏奈
 【人間生活学科 生活総合コース】
 スーツを取り巻く社会現象について 赤石沢めぐみ
 人体のニオイ・香りに関する検討 遠藤友理香
 子どもの生活習慣病予防に関する考察 鎌田明日香
 生活音に関する検討—QOLの向上に向けて— 緑川 愛
 韓国における特殊教育法制の特徴—日本との比較の観点から— 上遠野ひな
 LGBTに対する学校側の対応—公立男子校の教育的意義に着目して— 佐藤 栞

▽骨密度に関連する因子の検討 西山真理子
 骨密度と食習慣年代別比較 森まりあ/込山耶果奈
 精神疾患患者と健康者における摂食傾向の違いと肥満者への行動変容技法の活用について 大塚真子/鈴木彩音/人見奈都美
 附属高校卓球部における栄養サポート—鉄強化編— 牛渡暁子/鈴木絵未里/横田優佳
 潜在意識に及ぼす匂いの影響 伊藤 遥/佐々木笙乃/吉田莉奈
 感情及び感情認知に及ぼす匂いの影響 片寄真理/滝口美咲/中田麻菜美
 宮城県角田市の福祉施設におけるエゴマを使った商品開発について 石井千遥/内山愛美/橋本朋花
 葛尾村での取り組み報告①—女子大農場でのエゴマ栽培並びに商品開発について(2) 佐藤瑞穂/上野紗央里
 葛尾村での取り組み報告②—葛尾村産エゴマ種子ならびに油の成分分析について 伊藤柚香/大河内未来/尾形実里
 葛尾村での取り組み報告③—葛尾村産エゴマ葉の成分分析について 赤羽七海/星 茉那
 福島県内の病院における嘔下調整食に関する実態調査 佐藤 葵/瀧澤史帆/竹澤唯花
 体重と血糖コントロールに関するアンケート 新内ゆきの/松川莉彩
 管理栄養士養成課程学生の食農教育に関する実態調査と検討—第三次福島県食育推進計画からみる課題— 大平真琴/佐藤祐里

【大学 食物栄養学科】
 インターバル速歩による各種生体指標に及ぼす効果 古川千遥/五十嵐美穂/佐藤美鈴/須釜里美
 郡山市の水道水について 鈴木千幸/山田理菜
 郡山市のこどもたちの食生活に関する実態調査 佐藤麻弥/須田裕奈
 伝統的な和食の減塩に関するNa/k比からの検討(1)汁物について 味戸美樹/金田翔子/畑山鮎子
 同(2)漬物について 高橋佳奈/和田篤寿香
 斗南藩の食文化について 佐々木瞳
 HepG2細胞を用いた脂肪肝モデル細胞における脂質定量法の検討 洪谷奈那/宇津木春奈



大学・食物栄養学科の発表

春高バレー 3年連続20回目出場

第71回全日本バレーボール高等学校選手権大会(兼第46回FIVB杯争奪福島県高等学校バレーボール選抜優勝大会)が11月23日、24日、福島市の福島国体記念体育館で行われ、附属高校は決勝で磐城第一を3-0で下し、3年連続20回目の優勝を飾った。

1月5日から東京都の武蔵野の森総合スポーツプラザで開かれる全日本バレーボール高等学校選手権大会に福島県代表として出場する。佐藤浩明監督は「全員で戦い抜き、優勝できてうれしい。まだまだ成長途中の若いチームだが、全国大会に向けてベストを尽くしたい」と語った。

▽準々決勝

郡山女子大附属2-0相馬東

▽準決勝

郡山女子大附属2-0田村

▽決勝

郡山女子大附属3-0磐城一

なお、全国大会では、1月5日に行われる一回戦で大阪代表四天王寺高校と対戦する。

メンバー表

監督 佐藤 浩明
コーチ 佐々木 淑子
マネージャー 尾坪 大輔

名前	学年
井上 芙蓉	3年
目黒 愛梨	3年
樋口あや子	3年
上石 優花	3年
佐藤 麗奈	3年
鈴木優里菜	3年
伊野 佑香	2年
佐藤 愛海	2年
吉田 里乃	2年
有明愛祐佳	2年
大塚 萌華	2年
宗像 南頼	2年
山田あずさ	2年
朝倉 未来	2年
加藤 百華	2年
鯉淵 千夏	2年
木田 遥香	1年
原 花穂	1年
佐藤 朝美	1年
青島 美空	1年

名前	学年
佐藤しいな	1年
本田 恋桜	1年
柳沼 葉奈	1年
石井さくら	1年
柏原 凧沙	1年
郡司 咲梨	1年
今野 世実	1年



1年生で活躍した青島美空選手



チーム一丸となって活躍した27名の選手達

第56回県高校ハンドボール選手権大会 5年連続5回目の優勝

5年連続5回目の優勝

▽準々決勝

郡山女子大附属31-9郡山

▽準決勝

郡山女子大附属25-10郡山東

▽決勝

郡山女子大附属24-13学法福島



プレッシャーに打ち勝ち優勝を果たした生徒達

新役員決まる

【大学学友会】

- 会長 佐藤 朱莉(食物・2年)
- 副会長 阿曾 瑞希(食物・2年)
- 副会長 金久保 多恵(食物・1年)
- 総務部長 増子 夏海(食物・2年)
- 書記 鈴木 愛理(食物・2年)
- 書記 蜂谷 美咲(食物・1年)
- 書記 廻谷 琴美(食物・1年)
- 書記 村岡 真綾(食物・1年)
- 会計 阿部 志織(食物・2年)
- 庶務 鎌田 亜希(食物・1年)
- 文化部長 渡部 百香(食物・1年)
- 文化部長 影山 知香(食物・2年)
- 厚生部長 影山 知香(食物・2年)

【短期大学部学友会】

- 会長 鈴木 愛海(幼教・1年)
- 副会長 菱 育恵(健康・1年)

【附属高校生徒会】

- 会長 沼田 清香(2年)
- 副会長 長岡 優菜(2年)
- 副会長 山口 紗英(1年)
- 書記 福永 英巳(2年)
- 書記 遠藤 朱香(1年)
- 書記 井上 ゆう(2年)
- 書記 伊藤 さやか(1年)
- 書記 清水 晴香(1年)

メンバー表

名前	学年	名前	学年
宗像 優花	2年	草野 可愛	1年
鹿子田 楓花	2年	小柳 実羽	1年
西牧 彩奈	2年	岩谷 香澄	1年
阿久津 乃愛	2年	香西 愛海	1年
上野 沙耶	2年	根本 奈緒	1年
田母神 怜奈	2年	安齋 郁美	1年
中畑 心里	1年		

県高校新人大会剣道競技で 優勝3年ぶり5回目

優勝3年ぶり5回目

▽団体 優勝

個人 3位 伊藤 風侑

来年2月、福島市で開催される東北大会に向けて主将の小林恭子さんは「気迫と執念の剣道で東北大会も頑張る」と力強く抱負を語った。



東北大会への意気込みをのぞかせる剣道部員

メンバー表

名前	学年
部長 小林 恭子(大将)	2年
副部長 大越 亜季(副将)	2年
副部長 伊藤 風侑(先鋒)	2年
平 茉菜(次鋒)	2年
佐々木 由翔(中堅)	2年
小賀坂 りん(補員)	2年
滝田 優菜(補員)	1年
遠藤 紫桜(主務)	2年

第57回県高等学校新人体育大会卓球競技学校対抗で2位

卓球部は、第57回福島県高等学校新人体育大会に出場し、女子学校対抗では第2位となり、平成31年1月25日、27日宮城県で行なわれる第42回東北高等学校選抜卓球大会への出場権を獲得した。

その他の成績は次の通り。

- ▽ダブルス 優勝
- ▽ダブルス 優勝 伊藤 笑組
- ▽シングルス 3位 伊藤 笑
- ▽ベスト8
- ▽ベスト8 伊藤 笑
- ▽ベスト8 伊藤 笑

18位と大健闘 附属高校が 14年ぶりに出場 女子駅伝

18位と大健闘 附属高校が14年ぶりに出場 女子駅伝

第36回県高校駅伝大会が10月25日、猪苗代町の総合体育館前をスタート・フィニッシュで開かれ、14年ぶりに参加した附属高校は5区間21・097kmを1時間31分51秒で走り抜け18位と健闘。今回参加したメンバーは陸上部に所属する1年生7人、2年生6人、元ハンドボール部の3年生2人。来年はさらなる上位を狙う。

- 1区 6キロ 福永英巳(2年)
- 2区 4・0975キロ 後藤綾香(3年)
- 3区 3キロ 片寄沙紀(2年)
- 4区 3キロ 佐藤千夏(3年)
- 5区 5キロ 山口紗英(1年)



今後に期待

第26回東北高等学校 新体操選抜大会

- ▽ボール 10位
- ▽クラブ 9位
- ▽総合 10位
- 五十嵐 由(2年)



人事(依願退職)(12月31日付)

吉見 求 所属 入学事務 広報部



10月6日(土)・7日(日) 華やかに開催される
「魅力ある地域社会の創成をめざして」

第72回 もみじ会

学園創立72周年のもみじ会が、10月6日、7日の両日に開催された。
晴天に恵まれ、ご来賓やご家族、地域の皆様など2日間で6,000人が来場。
本学園の発展する姿を知っていただいた。

生活総合コースは、身近な公園など地域の花々をとおして潤いある生活について研究した。福祉コースは、今日、地域にみられる孤独・孤立に対する解決策として「地域住民カフ



【人間生活学科】
「地域における生活の質の向上」

大学



【人間生活学研究科】
「地域に根差した伝統的材料の利
用方法―瓦の特性と魅力及び郷土
料理と瓦の関係性―」
瓦は日本建築の美を担う伝統的
材料である。また、日本各地には瓦
をモチーフとした郷土料理などもあ
る。これらから、「建築的視点での瓦
の特性と魅力」と「郷土料理と瓦の
関係性」について考察・発表した。

大学院



【レストランもみじ】開設
管理栄養士を目指す学生が、栄養
バランスや季節感などを考慮しなが
ら献立を考え、実際に提供すること
で、これまで給食管理実習等を通し
て学んだ知識は技術の成果を学内外
に発信した。



【食物栄養学科】
「減塩&野菜を食べよう大作戦」
平成28年度国民健康・栄養調査
の結果等により福島県の現状を周
知し、健康寿命の延伸に向けて食と
健康について考える機会を提供した。
また、骨密度、握力の測定、ピーナツ
糖衣の手作り体験コーナーも設けた。

「」を上演。建築デザインコースは、本
学の特徴と郡山市の歴史文化を取
り入れた、新たな地域生活の拠点と
して「道の駅」を設計し、提案した。



【模擬店】
「MAPLE GARDEN」の開設
元気な学生の笑顔と心をこめた
料理の販売提供でお客様をおもて
なした。



【健康栄養学科】
「行事食の楽しみ」
行事食への理解を深め、行事食の
楽しさを伝承するため、我が国の行
事食について展示・紹介した。



【家政科・福祉情報専攻】
「つながろう、ささえあいの心―福祉
情報専攻の歩みとこれから―」
福祉情報
専攻教育内
容紹介、パソ
コン講習会
に加えて、福
祉情報専攻
の歴史を振
り返る展示
を行った。

短期大学部

【幼児教育学科】

「あきのもりでかんだえよう」卒業研究発表と子どものあそび」幼児教育学科の活動内容を発信するために、子どもの遊びについての紹介や展示、卒業研究などの活動の記録、社会福祉などの調査についての研究を発表し、学生によるプレゼンテーションも行った。



【生活芸術科】

「油彩画・版画・デッサン」

実習における課題制作では、油彩画は「静物画」「自由課題」、版画は「自由課題」、デッサンは「様々な素材を使ったクロッキー」「映像メディア表現」の展示発表を行った。なお、地域創成学科1年生の作品も展示された。



【音楽科】

「もみじ演奏会」短期大学部音楽科・附属高校音楽科・合唱部



【文化学科】

「新郡山風土記―未来への水路」

魅力ある地域社会の創成を、郡山の文化面から考え、4つの視点から揭示および実演を通して、地域のコミュニティの更なる発展の可能性を模索した。



【地域創成学科】

「地域創成学科、始動!!」スタート

今年4月に既存3学科(家政科福祉情報専攻・生活芸術科・文化学科)が統合し地域創成学科が誕生。また、半年とはいえ、1期生の活躍は既に多方面から注目されている。



【メーブルレディーズ】

「ヘアショー」「fleur」はなぐとわたしたち」学生モデルがヘアアレンジでどんどん可愛くなって、ランウェイを歩いた。女子大らしい「花と華やかさ」が詰まったイベントだった。



附属高校

「どんぐり食堂の開設」

集団調理学習成果発表として、「どんぐり食堂」を開設。食料科の生徒全員が心を一つにのびのびな食事を提供した。



【高校生徒会】

●卓球部「KGC高校卓球教室」

日々の練習を通して学んだ卓球の楽しさを地域の小・中学生に伝えた。



●マーチングバンド部

「ザ・マーチング2018」

日頃の練習の成果を発揮し、たくさんの方々にマーチングの楽しさや美しさを伝えた。



附属幼稚園

【幼稚園】

「ぼくたち わたしたちの作品展」

子ども達一人ひとりが日頃の遊びの中で描いた絵や、工夫しながら製作した物を発表した。



【幼稚園父母会】

「子どもたちへのプレゼント」

各クラスの父母によるリサイクルで作ったおもちゃを「子どもバザー」で販売。また、各家庭からお寄せ頂いた品々を「大人バザー」で販売した。



郡山開成学園大運動会

大学・短大会

走れ 跳べ 輝け

最高の瞬間を今ここに

大学院・大学・短大・専攻科の学生が4種目で熱戦を繰り広げた。

●バレーボール

- 1位 幼児教育2C
- 2位 食物栄養4A
- 3位 幼児教育2B

●ドッジボール

- 1位 幼児教育1C
- 2位 音楽・生芸合同
- 3位 食物栄養4A

●綱引き

- 1位 食物栄養4A
- 2位 食物栄養4B
- 3位 人間生活1・3合同

●借り物競争

- 1位 幼児教育2D
- 2位 幼児教育1D
- 3位 幼児教育2C

●地域創成1B

●食物栄養2B

高校部会

はばたけ青春!!

輝け☆附属プリンス

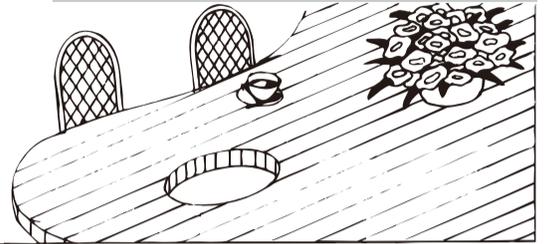
★学年対抗総合1位は3学年

- ①学年対抗綱引き
- ②未来に向かって(玉入れ)
- ③地球を動かせ!(クラス対抗大玉転がし)
- ④部活動対抗リレー(学芸部)
- ⑤部活動対抗リレー(運動部)
- ⑦障害物競争
- ⑧ザ★団結(大縄跳び)
- ⑨音楽科・美術科400mリレー
- ⑩食物科・普通科600mリレー



ティールーム

コミュニケーション・フォーラム



「輝いている 美しい 生徒たち!!」

高校食物科 佐々木 淑子

「おはようございます。」食物科生の元気な声が響き1日のスタート。今日は生徒たちが楽しみにしている食物科集団給食実施日。朝の7時30分。食物科3年生2名が朝届けられた食材料の発注の検収をする。てきぱきとやりこなす生徒の姿は頼もしい。8時15分一度教室に戻って朝のSHR。1校時の授業と同時に実習が始まる。実習生は3年2名2年4名が今日の献立「中華丼、海藻スープ、白菜甘酢、カスタードプリン」を100食近い食数を作る。最初に食材料の切断。ザルに入れられた約7kgの白菜などの食材料を包丁で切断していく。通常授業実習とは違い大量の食材料に驚きながらも、教員からの指示をしっかりと受け止めて生徒たちのてきぱきとした作業が続く。時計は12時。美味しい中華丼の出来上がり。12時30分、食事をする生徒や先生方がトレーをもつてセルフで料理を受け取る。その生徒たちが元気に声を発する。「いただきます」と声を発すると実習した生徒たちは「美味しいですよどうぞ!」と声を発する。そして、食事が終わると片づけと同



給食実習する食物科2年、3年生の生徒たち

時に「ごちそう様!」の声。実習している生徒は元気に「ありがとうございます」と笑顔で感謝を伝える。食物科は厚生労働省から認可された調理師養成施設。調理師を目指す生徒たちが入学時とは考えられない位、成長したその姿は頼もしい。そして心を込めて一生懸命に調理した生徒たちの姿はいつも輝いている。「美味しくなれ!」料理は心。この美しい心をこれからも生徒たちに伝えていきたい。

「JA福島さくら 梨共同選果場の壁画制作活動」



短大・地域創成学科1年 網干 夢加

6月下旬、「JA福島さくら梨共同選果場」の壁画制作の活動に携わりました。壁画のデザインはクラスメイトの國安碧さん考案で、梨をデフォルメ化したかわいいデザインが特徴です。キャンバスとなる壁は縦4メートル・横15メートルで、初めて目の当たりにしたときは、あまりの大きさに驚きました。2日間に及ぶ作業の初日は、絵の具を塗らない場所のマス

キングからスタートしました。先生が描いてくださったアタリの線(下書き)をもとに、絵の具を調合する人塗る人に分れました。私は壁の最上部に絵の具を塗る担当になりました。安全対策がされた足場でしたが、高所作業だったこともあり、とても怖かったです。壁に凹凸があるため、隙間なく塗ることに苦労しました。途中、幾度となく天井にヘルメットをぶつけての作業は、ワクワクと緊張が織り交ざった、不思議な感覚でした。休憩中にJA福島さくら様から頂いたアイスクリームとサクランボの差し入れは、とても美味しくて、疲れが癒されました。

2日目は、塗り残しがないか、足場の下から確認をしながら着色を行いました。途中、雨が降ることもありましたが、無事に完成させることができました。何ことも、初めてのことには不安を抱くものですが、これからの学校生活も仲間との協力を大切にしながら、さまざまな挑戦を重ねていきたいです。

「夢に向かって」



附属高校3年 金澤 萌桃

私は小学校一年生から継続してきた新体操をより深く学ぶために附属高校に入学しました。ジュニアクラブで新体操を始めたときの先生方

がとても優しく分かりやすく教えて下さったからこそ、高校でも更に上達したい気持ちになったと思います。

高校での目標は、一年次から団体のメンバーとして全国大会に出場すること、個人競技においても全国大会に出場できることを常に思い描いていました。達成させるために、指導内容を十分に身につけ、ライバルや先輩達からも多くのことを吸収し努力しました。

新体操は採点競技であり、指導者からの高い評価をいただけなければ練習の成果が発揮できるとは言えません。一年次の国民体育大会は、思うように発揮できずに補欠としての出場となり、涙のみでした。しかし、全国インターハイ団体競技三年連続出場、全国高校選抜大会は個人・団体共に出場、そして、悔しさをバネにして、国民体育大会二年連続出場を果たし、二年次には自己ベストの個人種目別で全国第17位という成績を残すことができたことが自信となりました。

現在の私は、新体操の指導者という夢に向かって、大学進学を目指しています。

私の本棚

『みんなが幸せになるホ・オポノポ』

(徳間書店)

郡山女子大学 人間生活学科 講師 廣野 正子

日頃、在学生や卒業生から悩みの相談を受けることが多く、殆どが人間関係によるストレスである。相談を受けて私が行うことは、いつ、どのような状況で、誰の言動に対して、どのような気持ちを抱い

パフォーマンストとは、デジタル用語は別にして、一般的に自身の身の行為を伴う芸術的表現のことである。1960年代のアラン・カプローの「ハプニング」という作品を皮切りに、類似の作品が数々と発表された。いかにアメリカ臭い用語である。日本でも、その後、演劇、美術、音楽、舞踊という既存の分野では包括できない作品(イベント?)が一時期雨後の竹の子のようにあちこちで現れたことを記憶している。

生活診断室

シリーズ⑥

場数を踏む

郡山女子大学 短期大学部 教授 一柳 智子

人前で自分の身体を利用して何らかの表現をすることは、その初期においては不慣れなため、なんとなくぎこちない。恥ずかしさもある。自分がどう見えているのかわからないから、監督だのディレ

クターだの職業が生まれる。しかし、堂々たるパフォーマンスを見るのは誠に気持ちの良いものである。そして、何度か人前でパフォーマンスをすると、踊る側に新たな感覚が生まれる。これが止められなくなる理由である。今年、ダンスサークルのめんめんは踊っている。いろいろな媒体や場面を活用してパフォーマンスしている。流行の曲の流行の振り付けを生き生きと踊っている。顧問として関わっている気が付いたことがある。皆、場数を踏むたびに確実に上手になっているのだ。楽しむ郡山女子大学のパフォーマンス者たちからパフォーマンスの極意は場数を踏む大切さにあると久しぶりに実感できた。

たのか、と一連の出来事を主観と客観的事実に分けて整理をすること。その際、相手の言動に本人の思い込みが混在することも多く、悩みを整理していくプロセスで冷静に考えることができるようになる。それでも、気持ちが納まらないというときに、『ホ・オポノポ』の書籍を紹介している。これは、ハワイの少数民族に伝わる伝統的な問題解決のメソッドが基になり、心理学者のヒューレン博士は、精神的な病気が理由で他者に暴力を加える重症の患者

が入院する病棟で実践した。患者に会うこともなくカルテに向かい、4つの言葉を投げかけ続けた結果、徐々に落ち着き投薬の必要もなくなり、全ての患者が退院してその病棟は閉鎖された。この4つの幸せの言葉とは「ごめんなさい。ゆるしてください。愛しています。ありがとうございます。」である。この言葉で潜在意識の中にある原因を、クリーニングすることができるというものが、私は手軽に気持ちを安定させる1つの方法としてお勧めする。

NEWS 学園ニュース

マーチングバンド全国大会へ

第47回マーチングバンド・パトントワリング東北大会が11月4日、宮城県利府町で行われ、附属高校マーチングバンド部は高校の部で金賞を獲得。全国大会出場を決めた。全国大会は12月15日・16日の両日、さいたまスーパーアリーナで行われる。



上位入賞を期待

第69回県南美術展

▽青少年・県南美術賞
小林瑠奈 (高3年)
▽福島民友新聞社賞
横田季奈良 (高3年)
▽青少年奨励賞
佐藤 結 (高3年)

大学ビブリオバトル 小林さん東北地区決戦へ

学生らによる書評大会「全国大学ビブリオバトル大阪決戦2018」郡山地区予選会が10月8日、本学で開かれ、チャンプ本(優勝)に小林若菜さん(短大2年)が紹介した「人形の家」が選ばれ、17日に仙台市で開かれた東北大会に出場した。



「人形の家」を紹介した小林さん

短大・音楽科定期演奏会

第49回短大・音楽科の定期演奏会が11月10日、建学記念講堂で開かれ、学生たちが練習の成果を披露した。オーケストラに合格した10人がピアノ、オーボエ、クラリネット、ホルンなどを演奏。会場からは大きな拍手が送られた。



学生らしい清新な演奏を披露

ミートデリカコンテスト 県大会 深堀さん最優秀

国産肉を使った創作料理コンテスト「食肉惣菜創作発表会2018

ミートデリカコンテスト」の県大会が10月28日、福島で開かれ、深堀舞さん(附属高校3年)が最優秀に選ばれた。「街のお肉屋さんで販売する新しい惣菜」をテーマに、県内の高校生や大学生、主婦らがエントリーした。本県の郷土料理「いか人参」を使った肉巻料理が好評を得たもので、12月1日に東京都で開かれる全国大会に出場する。



大会に出場する深堀さん



いか人参を使った深堀さん創作料理

平成30年度 郡山市教育委員会表彰

▽学校教育
石村由美子さん
(前郡山女子大学短期大学部副学長)
野沢謙治さん
(前郡山女子大学短期大学部教授)

自慢の鍋を競う 1次審査行われる

県産の旬の野菜などを使った自慢の鍋を競う「2018鍋奉行も納得福鍋満腹絶倒計画」の第1次審査が行われた。

▽本審査進出
「ふわとろ鍋」 宮田佳奈 (高1年)
▽入賞
「栄養満点!さつぱりカレー鍋」 佐藤沙希 (高2年)
「肉巻き鍋」 土屋友礼 (高2年)
「ぼかぼか生姜なべ」 三瓶さくら (高2年)

さつまいも掘りに大歓声

附属高校の生徒と附属幼稚園の園児が10月24日、西田町鬼生田のさつまいも畑でいも掘りの体験をした。附属高校3年生90人と園児約50人が参加。今回も包括連携協定を締結しているJA福島さくらの協力で行われた。収穫体験を通して安心安全な作物の生育過程を学び、地産地消について考えてもらおうと実施されたもの。生徒や園児は歓声を上げ、さつまいも掘りを楽しんでいった。



さつまいもに大歓声の園児

生ごみ減量 減る!レシピコンクール

▽最優秀賞
三瓶 さくら (高2年)
▽優秀賞 阪谷うる (高3年)
▽佳作 安斉郁美 (高1年)
大森唯寧 (高1年)
土屋香凛 (高2年)
柳沼 萌 (高2年)
渡辺実佳 (高3年)



さつまいものグラタン



さつまスティック

北海道地震義援金

大学学友会と短期大学部学友会が68,275円を福島民報社郡山本社へ届けた。学友会を通じて学生と教職員から募った善意と学内に設置した募金箱に寄せられた浄財。大学学友会の阿曾瑞希さん(食物栄養学科2年)と短期大学部学友会の高野尾嶺さん(健康栄養学科2年)が届けた。



(左)阿曾さん(右)高野尾さん

赤い羽根共同募金

大学・短大の学友会と附属高校生徒会が今年も学内で募金活動を実施。144,851円の浄財を得た。大学学友会・廻屋琴美さん、短大学友会・鶴川侑さん、附属高校生徒会長・沼田清



左から廻屋さん、鶴川さん、沼田さん

先輩を訪ねて

短大保育科を卒業後、教諭として附属幼稚園に16年間勤務し、現在は嫁ぎ先であるスズキ写真館を手伝っている鈴木恵子さん。スズキ写真館は、開成山大神宮から徒歩1分、昭和41年創業の老舗写真館です。鈴木さんは、お客様の受付や証明



鈴木 恵子 さん(旧姓・三浦) 平成10年 短大保育科卒業

香さんの3人が郡山市社会福祉協議会に寄託した。

いも煮会

今年度の献立は、福島風みそ味のいも煮汁、学園長先生からいただいたお肉でのバーベキュー、寮友会役員リクエストのチーズフォンデュ等で、参加者全員で下ごしらえを行い食欲の秋を満喫した。食後は天候に恵まれたこともあり、動物と触れ合ったり、おもしろ自転車に乗りたりと充実した一日を過ごした。



さつまいもに大歓声の園児

丁寧に稲刈りを体験

短期大学部健康栄養学科の学生と、附属高校生、附属幼稚園児が9月28日、三穂田町川田の田んぼで稲刈りを行った。JA福島さくらとの共同事業。学生・生徒と園児、保護者など200人が参加。小金色に輝く田んぼに入り、鎌を手に一束一束丁寧に刈り取った。参加者は、5月に飢えた稲の成長と収穫の喜びを実感し、日本の主食である米の重要性を認識した。



一束一束丁寧に

「ごみゼロ」キャンペーン

郡山市などをつくる「3Rフェスティバル2018実行委員会」の「3Rを考えるステージ」が11月11日、郡山市のニコニコ子ども館で行われ、本学・短期大学部幼児教育学科の学生70人が出演。紙人形やオペレッタなどを通してゴミの分別やリサイクルの大切さなどを訴えた。



3Rを考えるステージ

附属幼稚園西側に正門新設

附属幼稚園西側に正門が新設された。園児の安全も考慮され、防犯カメラや街灯も増設された。記念セレモニーでは賀門園長と年長の大橋ありすちゃん、遠藤寧仁ちゃんがテープカットを行った。



笑顔でテープカット

学食の名称「フェリーチエ」に決まる!

9月にオープンした学生食堂の名称が「フェリーチエ」に決まった。11月2日、学長、副学長2名、事務局長、学生生活部長、村上シェフ、学友会学生5名の11名で協議し、決定した。「フェリーチエ」とは、名前を考えた藤田由里さんによると、イタリア語で「幸せ」を意味しており、「とても縁起のいい言葉です」と説明。その他、優秀・ユーモア賞なども決定した。

▽最優秀賞 「学生食堂フェリーチエ」 藤田由里



本格的な料理を提供する村上シェフ(右)

明るい選挙啓発コンクール上位独占

- ▽最優秀賞 菅野未空 (美術科1年)
- ▽優秀賞 久保田朱莉(美術科2年)
- ▽優良賞 加沢くるみ(美術科1年)



菅野未空さんの作品

しめ縄講習会

附属高校食物科3年生を対象にした「しめ縄講習会」が行われた。講習会では田村町守山地区に伝わる「守山しめ」を継承する熊田三夫さん、マツさん夫妻の指導を受け、稲刈り体験で収穫した藁を使用。天の恵みに感謝しながら豊作や家内安全を祈願した。



熊田さんから指導を受ける生徒

紙上美術展 87

「僕の好きな風景」

短期大学部 地域創成学科 教授 浅野 章



「この絵は私の母校・東京藝術大学油画科での卒業制作です。当時住んでいた埼玉の家並みを描きました。試行錯誤を繰り返しながら、ようやく辿りついた私なりの表現です。」

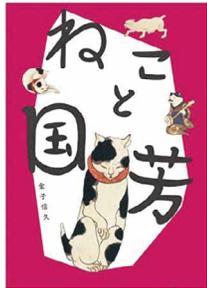
浅野章プロフィール

北九州小倉生まれ。現在までに世界30ヶ国を取材旅行。東京藝術大学大学院修了後、同講師。JAPAN大賞展で特別賞受賞、その奨学金を得てパリで制作活動。喜多方市美術館で回顧展ほかニューヨーク、東京などで個展多数。

BOOK 郡山女子大学 大学図書館

新しい本が届きました… 第9回

大学図書館では、去る7月19日、20日の両日に書店の現場で学生が本を選ぶ「選書ツアー」を実施しました。今回は学生が選んだ本を紹介します。



『ねこと国芳』

金子信久ほか著, パイインターナショナル 請求記号 721.81IU

『火のないところに煙は』

芦沢央著, 新潮社 請求記号 913.61IA



『ロマン主義文学と絵画』

村田京子著, 新評論 請求記号 950.211MuI



『悩みぬく意味』

諸富祥彦著, 幻冬舎 請求記号 146.811Mo



木もれ陽

先日の芸術鑑賞講座は、ドビュッシーとショーンによる室内楽という、なかなか渋めのプログラムで、わたしにとっては望外の喜びとも言える出会いだった。特にショーンの「ヴァイオリン、ピアノと弦楽四重奏のための協奏曲」は、クラシックの室内楽でも珍しい編成による珍しい作品で、結構な枚数のCDを所持しているわたしも、ショーンの「協奏曲」は数年前に購入した一枚しか持っていない。恐らく、この機会を逃したら二度と生演奏を聴けないのではないかと考えて拝聴したが、期待に違わぬ演奏であった。ショーンは「交響曲変イ長調」や「詩曲」など、オーケストラに

よる作品でもリリックな旋律と雰囲気を持ち味とした作曲家だったが、この日の演奏は実演を目の当たりにしたこともあってなのか、リリックな雰囲気よりも熱の籠もった演奏の方に惹きつけられたのだ。室内楽は弦楽四重奏が典型的な音楽であるが、交響曲のような大規模なオーケストラ作品がフォーマル・コミュニケーションに近いものであるのに対して、小声で心の内を語るインフォーマル・コミュニケーションに近いところが、室内楽作品の理解にはよい演奏が必要だけでなく、聴き手との相性も試されることが多い、とわたしは感じている。(和)